

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

県中農林ニュース



第 8 号 (平成 30 年 8 月発行)
編集・発行 福島県県中農林事務所

(写真:きゅうりの花)

目次

○特集：「販売力強化」

- ・新生運動県中地方推進本部会議開催！
- ・JA 夢みなみがトップセールスを行いました！
- ・猛暑を味方に！JA 福島さくらの「青果物販売トップセールス」
- ・「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン 第1回県産農林水産物 PR を開催しました！

○農林業関係の動き（トピックス）

- ・第 69 回全国植樹祭郡山 PR 会場！
- ・「JA 福島さくらトマト共同選果機稼働式」が行われました！
- ・「親子体験交流バスツアー in ふるどの」を開催しました！
- ・ほ場整備事業について

○頑張る農業者！

- ・新規就農者（田村市）

○産地の動き

- ・米の最高級ブランド ASAKAMA1887 の 7 つの基準をクリアするために

- ・今年も売ります！JA 福島さくら たむら地区本部「夏秋野菜出発式」
- ・初開催のマルシェ大好評！
- ・機械化体系の実証による葉菜類の大規模経営体育成を目指しています！
- ・須賀川地域における大規模水稻経営を育成します！

○おいしい6次化商品

- ・MIYAKOJI sweets yui

○各部・各普及所の紹介

- ・企画部

○お知らせ

- ・「ふくなかすいーつ」消費拡大キャンペーン開催中！
- ・いただきます！キャンペーン開催中！
- ・11月に「ふくしま植樹祭」が開催されます！
- ・「ふくしまからチャレンジ！就農フェア」を開催します！

特集：「販売力強化」

県中農林事務所では、県中産農林水産物のブランド化と販路拡大を図るために、農林水産業の再生、成長産業化を図りながら、地域間競争に打ち勝っていくことが重要であるとの認識のもと、安全性やおいしさを粘り強く訴え続けるとともに、震災により失った販売棚の獲得、販路拡大、販売拡大、販売価格の回復を目指し取り組んでいるところです。

昨年の5月に県知事とJA福島中央会会長が「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を発信したのを受け、農産物の生産工程管理を徹底し、消費者から信頼され、選択していただける産地づくりを進めるとともに、マーケットが求める生産力の強化を図り信頼される産地形成に一層力を入れながら日々活動をしています。

また、管内のJA福島さくらやJA夢みなみ、市町村長が卸売市場や量販店等に出向いてトップセールスを精力的に行い、流通から消費までの関係強化に努めているほか、管内の市町村や民間団体も県内外において各種イベントや催事への出展、マルシェの開催などにより販路拡大を図っています。また、日本ナシのベトナムへの輸出に引き続き取り組むほか、商品パッケージ改良等によるイメージ向上やオンラインストアでの販路開拓にも取り組み始めたところです。

出荷の最盛期を迎え、あらゆる機会を活かし、県中産農林水産物のおいしさ、品質の高さを発信し、風評払拭と販路拡大に取り組んでまいります。

新生運動県中地方推進本部会議開催！ 【企画部】

7月9日（月）、農業総合センター大会議室において、「ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」県中地方推進本部会議を開催しました。

県中地方推進本部では、県中地方の農林水産業の復興・再生の加速化に向けて、様々な立場の機関・団体の構成員が課題を共有し、連携を深めることにより、地域の実情に応じた取組を図り、「食の安全・安心」、「生産再生」、「風評払拭・消費拡大」、「情報発信」の4つの運動を柱とする様々な活動を展開しています。

会議には、生産から流通・消費に至る関係団体や市町村、県関係機関より出席があり、平成29年度活動実績及び平成30年度活動計画について説明をいただきました。

また、テーマを「農林水産物の流通・販売力の強化」として意見交換を行い、震災後の県産農林水産物の価格低迷の問題や「販売棚」の回復に向けた各団体の取組について、活発な意見・情報提供がなされました。



(県中地方推進本部会議の様子)

JA 夢みなみがトップセールスを行いました！ 【須賀川農業普及所】

6月30日(土)に、JA夢みなみをはじめ、管内市町村、県中農林事務所、県南農林事務所が参加し、東京大田市場にて、農産物販売のPRのため、「トップセールス」を行いました。

橋本代表理事組合長より「これから夏野菜が本格的に出荷されます。安全・安心農産物をPRしていきたい。」とあいさつを行った後、市場関係者が試食を行い、「きゅうりやトマトが、とても甘くておいしい。」と好評でした。

その後、神奈川県内の量販店・小売店の5店舗にブースを設け、JA、生産者、夢ガールキャンペーン隊などが積極的に店頭立ち、販売促進活動を行いました。

JA夢みなみでは、関西の京都市場でもトップセールスを実施しております。



(トップセールスの様子)

猛暑を味方に！JA 福島さくらの青果物販売トップセールス 【田村農業普及所】

7月13日（金）～7月14日（土）にかけて、取引市場16社との青果物販売「トップセールス」を東京にて実施しました。

市場との意見交換で、JAは青果物11品目の再生産可能な要請価格を提示し、実現に向けた対応を市場側に依頼しました。

ある市場関係者からは、「天候が荒れている。きちんと畑を管理していることが、JA福島さくらの武器になる。海から湖までの4地区の特性を活かしてほしい。」との話がありました。

翌早朝は、東京千住青果、東京シティ青果、東京新宿ベジフルの3市場において、田村市長等やJA組合長・役員による「セリ台PR」、きゅうりやトマト等の試食によるトップセールスを行い、猛暑に負けない産地や美味しい青果物をアピールしました。



(意見交換会の様子)



(首長等による「セリ台PR」)



(たむら地区のピーマン・インゲン)



(市場内での試食PR)

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

第1回県産農林水産物PRを開催しました！

【企画部】

当キャンペーンでは、県中地方にお住いの皆様に、県産農林水産物のおいしさなどの魅力を直接お伝えし、消費拡大と地産地消を推進するため、農林事務所主催で郡山、須賀川、田村、石川の4方部において、県産農林水産物のPRを実施します。

第1回目のキャンペーンは、7月15日（日）、郡山市のヨークベニマル横塚店において開催しました。来店された方々へ県産農林水産物をPRし、福島県の農林水産物に対するアンケートを実施しました。

アンケートに回答していただいた400名の方に、抽選で三春町産のブルーベリーまたは郡山市産のトマトをプレゼントしました。

また、ブルーベリー生産者の宗形真由美さん（三春町斉藤）、トマト生産者の橋本典彦さん（郡山市阿久津町）をゲストとしてお招きし、生産地の様子やおいしい食べ方等を紹介していただきました。

三春町の三春ダム（さくら湖）周辺に4軒あるブルーベリー摘取園は6月下旬から8月中旬頃まで開園しており、「今年は暑さの影響で1週間程度成熟が早いので早めに来園してほしい。」とPRしていました。

また、トマトの産地として郡山市の「阿久津・安原」はかねてから地域ブランドとなっており、「トマトは、夏バテ防止に最適なのでたくさん食べてほしい」とPRしていました。



（アンケート参加の様子）



（キャンペーン会場の様子）

農林業関係について（トピックス）

第69回全国植樹祭 郡山PR会場！ 【企画部】

6月10日（日）、JR郡山駅の西口駅前広場において、全国植樹祭PRイベントを開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、会場には1,965名の多くの方に来場いただきました。

イベント会場では、大型のビジョンカーで、南相馬市の全国植樹祭本会場の様子が映し出されると、多くの方が足を止めて見入っていました。

また、広場では県中保健福祉事務所の「野菜スープ」や「オレンジ風味のイモヨウカン」の無料配布が好評で、長い行列ができました。その他、県産農産物・加工

品等、キッチンカーによるハンバーガーや各種ジェラート、プリンの販売やヤマツツジの苗木配布も大人気でした。

ステージイベントでは「須賀川松明太鼓」や「郡山ウィンドアンサンブル」による演奏、真灯かなたさんによるミニコンサート、福島ファイヤーボンズチアリーディングのメンバーによるダンスパフォーマンスでイベント会場を沸かせてくれました。



(PR 会場の様子)



(ヤマツツジ苗木の配布)

「JA 福島さくらトマト共同選果機稼働式」が行われました！【農業振興普及部】

7月22日（日）、JA福島さくら郡山地区本部湖南東総合支店トマト共同選果機の稼働式が、トマト生産者、JA、関係機関団体、市場関係者等が出席し、青空の下で行われました。

郡山市湖南地区は、標高500mの冷涼な気候を生かして、トマト栽培に取組み、昭和55年に野菜指定産地に指定され、昭和57年に共同選果場を整備して主に京浜方面へ出荷しています。

当共同選果機は、近年の新規栽培者の参入による作付面積拡大と単収の向上による処理量の増加や消費者の高品質トマトを求める声に対応すべく、平成29年度「産地パワーアップ事業（国庫補助）」を活用して整備されたものです。

これにより、選果の処理能力と選別精度が向上し、さらなる高品質トマトが安定的に選別・出荷されることとなり、水分が多くみずみずしい湖南産トマト“湖に沈むトマト”の信頼と評価の向上が期待されます。



(式典の様子)



(共同選果場内の様子)

「親子体験交流バスツアーinふるどの」を開催しました！ 【企画部】

8月5日（日）に、古殿町で「親子体験交流バスツアー」を開催しました。

このツアーは、県内の親子を対象として、古殿町の伝統文化である流鏝馬や地元で育てた農産物を使用して、古殿地域に伝わる伝統食の調理や試食体験をしてもらい、農山村の魅力や地元農産物に対する理解を深めてもらうことが目的のツアーです。

「おざわふぁ〜む」では、夏野菜などを使用して伝統食の調理・試食体験を行いました。

参加者の皆さんは、初めに「あげまんま」というおやつ作りに挑戦しました。

講師の小澤啓子さんより作り方の説明などのお話があり、その中で「自分の好きな形にすることもできるよ」と聞いた子供たちが啓子さんに「こんな形も大丈夫ですか？」と質問している姿が見られ、各自思い思いの「あげまんま」を作っている様子でした。

次に、地元で収穫された野菜を使用したてんぷらや漬物、暑い夏にぴったりの冷だれ等の昼食を築120年の古民家でいただきました。



（おざわふぁ〜む前にて記念撮影）



（昼食の準備）



（地元野菜を使用したお昼ごはん）

NPO法人馬事振興会にて、馬とふれあい体験でえさやり、馬と綱引きをし「一馬力」を体感しました。

はじめに、馬と触れ合うに当たり馬の視野の範囲や、注意点の説明があり、みなさん真剣に聞いていました。

えさやりでは、自分のあげたりんごやニンジンが馬が食べてくれたことに喜んでいました。

馬と綱引きをするという体験はなかなか経験できないため参加した子供たちから、「馬に初めて触った！」や「馬との綱引き面白かった！」等の声がありました。

ふれあい体験の後は、実際に使用した蹄鉄を馬によって搬出された杉板に釘で打ちつける記念盾の作成を行いました。

往復のバス車内では「語りと方言の会」のメンバーによる石川地方の昔話をさせていただきました。

最後に参加者の方からは、「なかなか体験できないことばかりでとても有意義だった。」や「古殿の良さ（場所や人）を実感することができた。」、「すてきな街がこんな近くにあることを知った。」等の感想がありました。



(記念盾)



(体験前に記念撮影)



(一馬力を体験！)

ほ場整備事業について 【農村整備部】

収益性の高い農業を実現するため、農地の区画整理（区画拡大）や農道、用水路、排水路の整備により農作業の効率化や担い手への農地利用集積を図る「ほ場整備」事業を10地区（面積合計437.7ha）で実施中です。このうち、今年度は50haで農地の区画整理の工事を予定しています。

また、担い手への農地利用集積を推進するために「ほ場整備」の必要性が高まっており、新たに7地区（面積合計520ha）で事業が予定され、地元農家の方や関係機関と協力し、早期の事業着手に向けて計画の策定を進めているところです。

平成30年度 ほ場整備事業実施地区

番号	地区名	所在地	着工	事業量 ha	総事業費 千円
1	マエダガワ 前田川	須賀川市	26	71.0	1,800,000
2	ホリノウチ 堀之内	郡山市	26	25.1	525,000
3	マエダ サワ 前田沢	郡山市	26	32.6	588,000
4	モリジユク 森宿	須賀川市	29	70.5	1,278,000
5	サワイ 沢井	石川町	29	88.0	1,582,000
6	ナガヤ 永谷 ※	田村市	29	18.0	538,000
7	ニシムキ 西向	田村市	30	43.6	910,000
8	ジケンジョウ 地見城	田村市	30	25.2	574,000
9	ヤマグチ 山口	田村市	30	31.9	746,000
10	カミイワイ サワ 上岩井沢	田村市	30	31.8	961,000

※永谷地区は中山間地域総合整備事業によるほ場整備



頑張る農業者！！

新規就農者（田村市） 【田村農業普及所】

田村市の株式会社 Green For Table（白岩幸恵氏・富塚あゆみ氏：就農1年目）

白岩さん・富塚さん姉妹は、経営品目「ミニトマト」と「ふきのとう」で今年就農しました。就農と同時に法人化を果たし、営農1年目の今年は手探り状態の中、栽培管理

技術の習得・農業経営の発展に向け、日々奮闘しています。

就農にあたっては、普及所・市・JAと連携した支援体制の中で就農相談・準備を進めてきました。

また、次年度以降は事業等を活用し、規模の拡大を進めながら、さらなる経営発展を目指し、農業に取り組んでいきます。



右：白岩幸恵さん
左：富塚あゆみさん

産地の動き

米の最高級ブランド ASAKAMAI887 の7つの基準を クリアするために 【農業振興普及部】

郡山市産コシヒカリの最高級ブランド「ASAKAMAI887」の7つの基準（①食味値88点以上、②タンパク質含有率6.1%以下、③ふるい目2.0mm、④整粒歩合80%以上、⑤特別栽培米、⑥GAPへの取り組むこと、⑦エコファーマー認定者であること）をクリアするため、取組生産者を対象とした指導会が6月8日（金）にJA福島さくら郡山地区本部主催で開催されました。

29年産米は8月以降の不順天候の影響で、食味値の基準をクリアできませんでした。このため、より食味を優先した栽培管理について農業振興普及部の作物担当から説明を行いました。生産者からは、昨年の栽培を踏まえた課題や今年の栽培への意気込みについて発言がありました。

また、ASAKAMAI887 取組み生産者はFGAP団体認証を目指しており、FGAP取得までのスケジュールや関係帳票の記入方法等について、普及部から説明を行いました。

今後は、認証に必要な9月の現地調査確認に向けて、市・JA等の関係機関と連携をして、農業振興普及部が帳票類の確認やコンサルタント等の支援を行っていく予定です。



（GAPへの取り組みについての説明を真剣に聴講する生産者の方々）

今年も売ります！

JA 福島さくらたむら地区本部「夏秋野菜出発式」 【田村農業普及所】

7月9日（月）、田村市船引町のJA福島さくらたむら地区本部「船引そさいセンター」で夏秋野菜の出発式が行われました。田村農業普及所をはじめ、生産者、運送会社、JA関係機関の関係者約50名が出席しました。園芸部会長のあいさつの中で生産・販売に対する意欲を述べ、来賓による祝辞、代表者によるテープカットが終了した後、ピーマン・トマト・ナス・いんげんなどの夏秋野菜を荷台に満載した10tトラックが、出席者の拍手の中、市場に向け出発していきました。田村地域の夏秋野菜は、今年も数多くの消費者の皆様を満足させることでしょう。



(テープカットの様子)

初開催のマルシェ大好評！

【田村農業普及所】

7月11日（水）に、田村市役所の屋外スペースで「第1回たむらマルシェ」が開催されました。

今年設立した田村市若手農業者グループ「AgriCreator's∞Tamura」のメンバーが生産した農産物が出品され、お昼前にはほぼ完売するほどの好況ぶりでした。

このグループは、これからの田村市の農業を担う若手農業者等が、この先もずっと農業で暮らしていける地域の実現に向けて、新たなチャレンジをともに考えて実践することを目的として結成されました。マルシェは今後も月1回、第2水曜日に開催する予定です。

ぜひ、足をお運びください！



(マルシェの様子①)



(マルシェの様子②)



(マルシェ参加のみなさん)



(女性農業者の方々)

機械化体系の実証による葉菜類の大規模経営体育成を目指しています！
【須賀川農業普及所】

石川地域においては、高齢化等に伴う農業従事者の減少により園芸産地の弱体化が危惧されることから、中山間地の限られた農地における大規模園芸経営の育成が求められています。

そこで、須賀川農業普及所では、「次世代を担う地域農業先端モデル実証事業」を活用し、中山間地域における大規模園芸経営体系確立のための技術実証に取り組んでいます。

今回の実証では、同一ほ場に年複数回は種することにより、延べ面積で大規模化を図れる施設葉菜類に着目し、栽培に係る労力の大半を占め、かつ人力作業である収穫・調整作業において機械化体系を導入し、葉菜類の大規模経営の確立を目指します。今後、実証や現地検討会等を通じて、中山間地における大規模園芸生産体系の確立と技術の普及、先導的な経営体の育成により園芸産地力の強化を図ります。



(実証ほにおけるハウレンソウ収穫機の現地検討会の様子：7月12日)

須賀川地域における大規模水稲経営を育成しています！ 【須賀川農業普及所】

須賀川市松塚地区において大規模水稲経営の育成を目指し、低コスト・高収益化を可能とする稲作技術と作業の効率化・省力化を可能とするICT技術を組み合わせた経営取組の実証として、ふくしまアグリイノベーション実証事業に取り組んでいます。

今回の実証では、スマートアシストシステムや密苗、自動水門、リモートセンシング、収量コンバインを導入し、作業の省力化・効率化について検討を行っています。

7月20日（金）、100名の参加者のもと現地検討会を行い、密苗、自動水門を導入したほ場を見学していただきました。

今後も実証データを蓄積し、収量均一化、生産性の向上、コスト削減を目標とし、経営面積50ha以上の大規模経営体の育成につなげていきます。



(現地検討会の様子)

おいしいも次化商品

MIYAKOJI sweets yui 【企画部】

○みやこじスイーツゆい○

「MIYAKOJI sweets yui」では、都路の地場産品を使用しておいしいお菓子を作っています。

なかでも、ゆいプリン リッチが売れ筋商品です！

ゆいプリン リッチは、都路産のたまごをふんだんに使い、生クリームでとろ～りなめらかに仕上げたプリンです。

☆都路産のたまご☆

プリンに使用されている都路産のたまごは、えさを工夫しコクのあるとろける味わいにこだわったたまごで、黄身の色が濃いのも特徴です。

放射性物質については、毎日検査を行い、安全性を確認したうえで出荷しています。

店内にはイートインスペースもあります。

また、パッケージがとってもおしゃれなので、お土産にもおススメです！
おしゃれな空間でしあわせなひとときを



(ゆいプリン リッチ)

地図



各部・各普及所の紹介

企画部の紹介！

こんにちは。企画部長兼地域農林企画課長の家久来です。この4月に大阪事務所より転入してまいりました。よろしくお願いいたします。

さて、企画部は、地域農林企画課と指導調整課の2課11名体制で業務を行っています。担当職員の紹介と併せて具体的な業務内容を紹介します。

まず、地域農林企画課です。とりまとめるのは、原田政尚主任主査、現職3年目、県中管内の農林業で知らないことはないという大ベテランです。毎日、棚倉町から電気自動車を通うタフガイです。地域の農林水産物の安全性の確保や信頼性の向上を図るため、県中産農林水産物の安全性やおいしさを粘り強く消費者の皆さんに訴えかけています。その他、地産地消や食育、地域産業6次化やグリーン・ツーリズム等による農山村の活性化を支援しています。齋藤直彦主査、粒來詠子主査、新堀幸恵主事、新規採用の小池涼乃技師がそれぞれ業務を担います。

次に、指導調整課です。仕事が丁寧で緻密な高野信也課長を、冷静な紺野公実子主査（キャップ）が補佐する体制です。優良農地の確保のため、農振法に基づき市町村が定める「農業振興地域整備計画」の見直しや、農地法に基づく農地転用許可、また、農業協同組合や土地改良区等の団体検査、農林水産物の適正な食品表示の推進を担います。佐久間隆主査、庄司由希子主査、榊原育美主査がガッチリ脇を固め業務にあたっています。

そのほか、育児休業中の白川美波副主査、臨時職員の星井由希さんを加え、『明るく、楽しく』をモットーに県中地方の農林業の振興のため、日々、尽力しています。



お知らせ

「ふくなかすいーつ」消費拡大キャンペーン開催中！ 【企画部】

県中農林事務所では、平成24年から県産農産物を使用して開発を進めてきた「ふくなかすいーつ」(※)の取組が5年経過し、開発した商品数が30品目を超えたことから、一般消費者への「ふくなかすいーつ」のさらなる知名度向上と県産農産物や6次化商品の消費拡大を目的として当キャンペーンを実施しております。※県中地域・県内の農産物を使用して県中地域で作られたお菓子の名称。

○応募期間

第Ⅰ期：7月14日(土)～8月31日(金)

第Ⅱ期：9月1日(土)～11月30日(金)

○応募方法

店頭にある応募用紙に、県中管内の「ふくなかすいーつ」販売店のレシート(合計金額1,000円で1口、1口から応募可能)に貼付、必要事項を記入の上、郵送してください(当日消印有効)。

たくさんのご応募お待ちしております！！

ふくなかすいーつ 消費拡大キャンペーン

抽選で40名様に「ふくなかすいーつ」プレゼント！

応募期間 7/14(土)▶ 8/31(金)【第Ⅰ期】
9/1(土)▶ 11/30(金)【第Ⅱ期】

「ふくなかすいーつ」販売店で合計1,000円以上ご購入いただいた方の中から、抽選で各20名(計40名)に「ふくなかすいーつ」を含むお菓子3,000円相当をプレゼントいたします！

応募方法

県中管内の「ふくなかすいーつ」販売店のレシート(合計金額が1,000円で1口、1口から応募可能)を裏面の応募用紙に貼付し、必要事項を記入いただき、応募用紙を同封のうえ、下記までご郵送ください。(※当日消印有効)

※レシートは応募期間内のものに限り、※レシートは複数枚かませず、あらかじめご了承ください。※応募用紙の裏面にプレジートの貼付位置が示されています。※プレジートは「お一人1シート」まで貼付いたします。※住所・氏名が不明な場合は無効となります。※お菓子以上の購入履歴は、商品の発送のために使用いたします。

「ふくなかすいーつ」とは！

○県中地域・福島県産の農産物を使用して、県中地域で作られたお菓子を「ふくなかすいーつ」と名付けています。

○県中地域・地域特産品顔出クラスター分科会を通じて開発した商品。

○各事業者の管理で独自に作った商品。

※/バンフレット掲載やイベント出展等を通じてPRしております。

応募先・お問合せ
福島県中農林事務所 企画部 地域農林企画課
「ふくなかすいーつ」キャンペーン 担当
〒963-8540 福島県郡山市麓山1-1-1 TEL 024-935-1510

県中地域ふくなかすいーつプレゼント 応募用紙

【お名前】 _____

【ご住所】 〒 _____

【電話番号】 () - () - () 【口数】 _____ □

【質問】 このキャンペーンをどこで知りましたか？(いづれかに○)

新聞・チラシ・店舗・その他() _____

こちらにレシートを貼ってください。
レシートの合計金額が1,000円で1口です。1口から応募できます。
※レシート2枚の合計を1,000円の場合、2口です。

※お手持ちの便せん等に「お名前・ご住所・連絡先・口数・郵送の控え」を記入し、レシートと一緒に郵送いただくことも、郵送可能です。

「ふくなかすいーつ」販売店	住所	電話番号
1 俊博製菓子店 早稲原 栗木自末店/荒井山製菓店	郡山市東水戸2-6-6/郡山市水戸台14-17	024-932-3499/024-921-4194
2 うみやや	郡山市東水戸山崎久保町平久保町7-1	024-925-0259
3 新栄堂 ヤマテ平蔵	郡山市東水戸1-21	024-956-1511
4 尚徳	郡山市東水戸山崎久保町字堂127-5	024-956-5511
5 かど屋 (神山菓子店)	郡山市中田町東原中下ノ沢4	024-943-1917
6 新栄堂	郡山市東水戸1-15	024-922-2955
7 俊博製菓子アトリエ きょうとパテラと	郡山市東水戸多田町字堂下18-9	024-997-1911
8 フルーツピークス	郡山市山田町4-5	024-922-0281
9 新みや	郡山市東水戸1-14	024-922-4517
10 みよと屋	郡山市山田12-23	024-935-3440
11 俊博製菓子店	郡山市水戸町2-10	024-922-4041
12 みのり製菓	郡山市東水戸154	0248-75-0097
13 BON BAKERY	郡東川原橋町121	0248-73-1847
14 餅・菓子工房 かめまん 本店/伊の町店	郡東川原町457/郡東川原町の南185	0248-72-2151/0248-94-7907
15 菓子工房かめまん	郡東川原町東町東町1	0247-62-0223
16 みやこスイーツゆい	郡山市東水戸山崎久保町1	0247-73-8330
17 眞びす屋	郡山市山田町12	0247-26-1982
18 眞びすのやかい	郡山市東水戸27-20	0247-26-2522
19 お菓子のくわむむ	郡山市東水戸東水戸20-1	0247-26-2851
20 菓子工房いむきや	郡山市東水戸東水戸20-3	0247-43-2159
21 眞の菓子店 ましほ	郡東川原町字堂中ノ沢1-5	0247-65-3392
22 大福製菓店	郡東川原町字堂橋253	0247-62-3399
23 三華製菓家	郡東川原町180-4	0247-62-2272

(キャンペーンチラシ)

いただきますキャンペーン(県中地方特産品プレゼント)開催中！ 【企画部】

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンは、県内の消費者に県産農林水産物の美味しさや安全性をPRし、風評の払拭と農林水産物の消費拡大を推進するため、県中農林事務所主催により実施しているものです。

今年度も、昨年に引き続き、県中地方の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている常設直売所で買い物をしていただいた方を対象として、「県中地方の特産品が当たるプレゼントキャンペーン」を実施しています。

どなたでも応募できますので、皆様のご応募お待ちしております！！

(1) 応募期間

第1期：平成30年6月1日（金）～8月31日（金） 抽選9月上旬

第2期：平成30年9月1日（土）～11月30日（金）抽選12月上旬

(2) 応募方法

①店頭にある応募用チラシに、記載されている直売所のレシート（合計金額1,000円で1口、1口から応募可能。）を貼付、または手持ちの便せん等に必要事項を記入のうえ同封し、郵送してください（当日消印有効）。

②各回20名、計40名を抽選（くじ引き）し3,000円相当の「県中地方特産品詰め合わせ」をプレゼントします。

おいしいふくしま いただきます！ キャンペーン

抽選で「県中地方特産品」をプレゼント！！

県中管内の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている直売所（裏面参照）のレシート（合計金額1,000円で1口、1口から応募可能。）を裏面応募用紙に貼付またはお手持ちの便せん等に「お名前、ご住所、連絡先、口数、質問の答え」を記入のうえ、レシートを同封し、下記まで郵送してください（当日消印有効）。

★応募期間 【第1期】平成30年6月1日～8月31日
【第2期】平成30年9月1日～11月30日

★内容 3,000円相当の「県中地方特産品」を各回20名様にプレゼント！！

※何かが当たるかは運に任せてください

応募先・お問合せ

福島県農林事務所 企画部 地域農林企画課
いただきますキャンペーン担当 宛
〒963-8540 福島県郡山市麓山1-1-1
電話 024-935-1510

ご応募お待ちしております！

※応募方法
県中管内の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている常設の直売所（裏面参照）のレシート（合計金額が1,000円で1口、1口から応募可能）を、応募用紙に貼付またはお手持ちの便せん等に必要事項を記入のうえレシートを同封し、応募先まで封書で郵送してください。

※その他
・レシートは、平成30年6月1日以降のものに限ります。
・当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
・複数口で応募された方は、当選確率が上がります。ただし、プレゼントは、おひとり1セットまでとさせていただきます。
・お預かりした個人情報は、景品の発送のみに使用いたします。

ふくしま新発見。 福島県では農林水産物の放射性物質を測定し、検査結果を随時公開しています。福島県農林水産物モニタリング情報検索サイト。ふくしま新発見。
http://www.new-fukushima.jp/

おいしい ふくしま いただきます！ キャンペーン 県中地域特産品プレゼント 応募用紙

県中管内の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている常設直売所

名称	住所	電話番号
JA農産物直売所 愛情報	郡山市朝日二丁目 3-35	024-991-9060
農産物直売所 ベレッシュ	郡山市暮久田町字四十田 6-47	024-973-6388
ポテトファームおおせ	郡山市津波町多田野字下野屋 101	024-957-2712
トマトっち	郡山市暮久山町南小倉石倉 80-1	024-956-2618
湖南四季の里	郡山市湖南町福島字倉の北 9	024-962-3371
JA 福島さくら農産物直売所 旬の産 久留米店	郡山市久留米 2 丁目 77-1	024-945-7463
JA 福島さくら農産物直売所 旬の産 大槻店	郡山市大槻町字野野 64-1	024-966-3512
JA 夢みなみ 重藤支店	須賀川市郡野 54	0243-73-5261
JA 夢みなみ 重藤支店	須賀川市和野字谷地 50	0243-76-7111
JA 福島さくら農産物直売所 ふあせのたむら	田村市船引町船引字遠原 143 番地	0247-62-4800
旬菜かそね直売所	田村市船引町船引字馬場 24-1	0247-62-4678
緑石まの駅 かんかんてらす	緑石町中央 345	0245-94-8110
道の駅羽鳥集落	天栄村大字田島尾字芝草 1-3952	0245-85-2547
天栄村農林水産物直売所 季の里天栄	天栄村大字大里字次野 50-1	0245-81-1455
ファーム りとるランド	石川町北町 3	0247-26-3634
あぶくま安心館 駅前店	石川町字当町 109-6	0247-26-6264
玉川村生産物直売所 こぶしの里	玉川村大字岩法寺字宮の前 140-2	0247-57-3800
農産園	玉川村大字中野上 52	0247-57-4887
道の駅「ひらた」	平田村大字上藤田字藤森後 180	0247-55-3501
農産所 あさみんせ	浅川町大字浅川字本町西裏 102-1	0247-36-1123
吉野町生産物直売所「おふくろの駅」	吉野町山口字平野 25	0247-53-6070
三春の里田舎生活館	三春町大字西方字石巻 487-1	0247-62-8010
さわ市 香露館	三春町大字大町 32-1 みはる香露館内	0247-62-6222
さわ市 葉の上店	三春町大字六井 50-20	0247-62-2833
パレットやおや市	三春町山田字クルマズ 56	0247-62-5065
（株）道のげんき	小野町大字飯室字坂内前 16 番地2	0247-72-5511

こちらにレシートを貼ってください。
レシートの合計金額が1,000円で1口です。1口から応募できます。
※レシート2枚の合計金額3,500円の場合 = 3口

※お手持ちの便せん等に「お名前・ご住所・連絡先・口数・質問の答え」を記入し、レシートと一緒にお送りいただいても、応募可能です。

【お名前】 _____ 【口数】

【ご住所、連絡先】 〒 _____ (電話) _____)

【質問】 福島県産の農林水産物を積極的に買っていますか？ (いずれかに○) はい いいえ

11月に「ふくしま植樹祭」が開催されます！ 【森林林業部】

第69回全国植樹祭は、6月10日（日）に天皇、皇后両陛下のご臨席のもと、「育てよう 希望の森を いのちの森を」を大会テーマに、全国はもとより海外からも大勢の参加者の皆さんをお迎えして開催されました。

大成功となった全国植樹祭の理念を継承し、緑の森づくりを一層推進するため、新たに「ふくしま植樹祭」が開催されることとなりました。

第1回は、11月4日（日）に南相馬市鹿島区北海老の海岸防災林を会場として開かれ、歌舞伎俳優の市川海老蔵さんも来場する予定で、県内外から約3千人の参加を見込んでおります。9月以降、県のホームページなどで参加者を募集しますので、皆様のご応募をお待ちしております。

「ふくしまからチャレンジ！就農フェア」を開催します！ 【田村農業普及所】

次代の農業の担い手となる新規就農希望の方々を応援するために、県中地域やその周辺地域で就農を検討している方々を対象に合同相談会を開催します。

これから就農して農業に取り組みたい方、定年を機に農業にチャレンジしたい方、就職・転職先として農業を考えている方など、農業に強い意欲と情熱をお持ちの方々のご来場をお待ちしております！

○日時
平成30年12月2日（日）
10:30～16:00
（予約不要・自由参加）

○場所
福島県農業総合センター
多目的ホール

※就農対象エリア
郡山・田村・須賀川岩瀬・石川・
安達・双葉・いわき地域

※協力機関
就農対象エリアの市町村
・JA等18機関・団体

○お問い合わせ先（主催）
福島県県中農林事務所 田村農業普及所
TEL：0247-62-3113



お問い合わせ先

福島県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540 福島県郡山市麓山一丁目1番1号

TEL (024) 935-1510 / FAX (024) 935-1314

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/>

メールアドレス kikaku.af02@pref.fukushima.lg.jp